

東日本大震災災害支援報告書

巡回日	巡回先名	
平成26年3月19日～ 3月21日	岩手県陸前高田市 米崎小学校仮設住宅 作業所せせらぎ 作業所きらり、 鈴木宅 岩手県立高田病院 岩手県大槌町 子ども夢ハウスおおつち 岩手県釜石市 地域活動支援センターまりん	
担当者名	中里義博	歯科医師 歯科衛生士 歯科サポート兼ハン ドトリートメント施術ボランティア
	職種	(歯科 S&H)
	所属	岩手三陸復興の狼煙作戦、 健口インハンド

巡回メンバー（メンバーの氏名と職種・所属）

白根雅之：歯科医師 埼玉県歯科医師会 岩手三陸復興の狼煙作戦 健ロインハンド

清水夏子：歯科衛生士 所沢あおぞら歯科診療所 岩手三陸復興の狼煙作戦

健ロインハンド

*清家瑞穂：会社員 サンスター株式会社勤務 岩手三陸復興の狼煙作戦

健ロインハンド

*上野左貴：自営業 フットリフレソロジスト 健ロインハンド

山崎耀樹：現地駐在（釜石）支援員兼記録者NPO法人

「障がい者自立センターかまいし」職員 健ロインハンド

*印は、歯科サポート兼ハンドトリートメント施術ボランティア

（以下：歯科 S&H と称す）

歯科医師 1 名、歯科衛生士 1 名 歯科 S&H 2 名 支援員兼記録者 1 名 計 5 名

協力者

石木幹人：岩手県県立高田病院顧問

大和田剛史：岩手県気仙歯科医師会会長

吉田重之：岩手県気仙歯科医師会会員

佐藤一男：岩手県陸前高田市米崎小学校仮設住宅自治会長

伊藤勇一：岩手県陸前高田市作業所きらり所長

中村浩行：岩手県陸前高田市作業所青松館館長

熊谷 努：青松館分場せせらぎ施設長補佐

大西智史：@かたつむり管理者

佐藤一男：岩手県陸前高田市米崎小学校仮設住宅自治会長

東平享浩：桜ライン 311 スタッフ（現地情報提供者）

丹羽房子：岩手県陸前高田市米崎小学校仮設住宅

健診、簡単な歯科治療、口腔保健指導・教育を受けた人数

* () 内はハンドトリートメント施術による脱感作を受けた人数

米崎小学校仮設住宅	：現状のリサーチ	7 (2) 人
作業所きらり	：職員の方への研修	3 (3) 人
	お口の健康診査	15 (8) 人
せせらぎ	：お口の健康診査	6 (8) 人
	職員の方への研修	2 (2) 人
まりん	：職員の方への研修	2 人
子ども夢ハウスおおつち	：口腔保健指導 (施設職員)	1 (1) 人
在宅での口腔機能の向上		1 人
	延べ人数	37 (24) 人

支援内容

米崎小学校仮設住宅： 歯科および生活環境等に関する情報の収集、脱感作
施術

作業所きらり： 歯科健診、歯磨き指導、歯科保健についての現状と、これから先需要が予想される歯科保健支援活動についてのリサーチ
と脱感作施術

せせらぎ： 歯科健診、歯磨き指導、歯科保健についての現状と、これから先需要が予想される歯科保健支援活動についてのリサーチ
と脱感作施術

まりん： 歯科保健についての現状と、これから先需要が予想される歯科保健支援活動についてのリサーチ

子ども夢ハウスおおつち： う蝕予防製品のお届け、情報交換と脱感作施術

在宅： あらかじめ地元の先生とコンタクトを取り、在宅に関して委託を受けた患者さんへの対応。口腔ケア、口腔内診査、摂食嚥下機能訓練指導。

* 全ての場所において責任者さん及び従事者の方との懇談を行った。

協賛

サンスター株式会社： 保湿剤 (バトラージェルスプレー、うるおい透明ジェル)、歯間ブラシ、歯ブラシ。

グラクソ・スミスクライン株式会社： ポリデント、ポリグリップ

T&K株式会社： 保湿剤他サンプル製品や指導書

有限会社ビーエムジャパン： ガチャポン

考察

1. 米崎小学校仮設住宅に関して：

仮設住宅在住と言う環境の中、お口に関する現状、今後の支援においてはどのようなことが必要なのか、それをどの様に進めて行ったらよいのかを、コミュニケーションを取りながら話し合った。歯科健診は県歯よりコミュニケーションセンターにおいて行われているようで、そのフォロー程度で事が足りると思われる。今後さらに、ハンドトリートメントにてコミュニケーションを取りながら、住民の方々からの歯科に関する情報の収集行っていく必要があると思われる。(特に閉じこもりや、身体的な理由にて在宅歯科診療が必要と思われる方々のピックアップ) また、「誤嚥性肺炎の防止」「口から食べる事の重要性」についても啓発を進めて行く必要性が有ると感じた。(白根) 歯科受診や口腔健診を受けることが出来ないままになっている仮設入居の方も多いと伺い訪問の必要性を感じました。(清水)

2. 作業所きらりに関して：

地元の歯科医師会の対応が可能になるまで、年1回のお口の健診をと言う事で12月に来訪した際に施設長さん、副施設長さん、部門責任者の方と検討させていただいた。本作業所の方々のお口をはじめ、いろいろなことに対しての自意識は高く、集団と言うよりも個々の対応が望まれるように感じた。当たり前なことだと思うが、利用者さんに対しての受診勧奨は今後も継続的に必務だと思う。(白根) 職員の方が誘導や健診用紙の氏名記入などを携わってくださったことでスムーズに健診を行うことが出来ました。訪問を重ねることで利用者さんと顔なじみになり不安なく健診を受けていただけるようになり職員の方とも信頼関係が築けてきたように感じました。(清水)

今回から施術を別室で行うことで一人ひとりのお話を伺うことができた。利用者さんの施術時も職員の方が横でサポートしながらお話できたので、今後の活動を再検討する機会となった。(清家)

3. せせらぎに関して：

久しぶりのお口の健康診査をさせていただいた。作業形式が分業制なので、今回は室内勤務の方を中心行った。それぞれ施設職員の方々のご協力の下現状の説明を受け、時間が十分にあったため一人ひとり時間をとってしっかり対応できたと思う。今後も年一回のお口の健診のご希望を確認させていただいた。(白根) 時間をかけて口腔ケアを指導させていただくことが出来、利用者さんにお渡しするケア記録も細かな内容を示すことが出来ました。健康審査の後、日常使用している歯ブラシを見せてくださる利用者さんも有り、時間に余裕を持って丁寧な指導が出来たことで関心を持っていただくことが出来たのではないかと手ごたえを感じました。(清水)

ハンドトリートメントを介して現在の生活やお仕事のことなど様々なお話を伺うことができ今の状況を知ることができた。この施設で作られた椿オイルの製品が様々な場所で使われていること、媒体で紹介されたことなど情報共有できたことも良かったと思う。(清家)

4. まりんに関して：

歯磨きの習慣が少しずつ定着しつつあるという情報を頂いた。12月の講話が良いきっかけとなったと思われる。今後もさらに内容的な充実のお手伝いができると思う。次回は直接通所なさっている方々と対峙して、実演を交えた支援を考えている。

(白根)

5. 子ども夢ハウス大槌に関して：

歯磨剤を提供させていただいた。また、大雪のため来訪時の子供の来施設はなかったので、施設指導員の方とじっくりお話をさせていただいた。年一回のお口の健診を何時に設定するのか、また保護者の方々にも歯科保健についてご理解をいただくような進め方も視野に入れて活動を進めて行くのが望ましいと考えられる。(白根)

ハンドトリートメントを体験していただくことを通して、健康維持に役立つセルフケアについてお話させていただいた。子どもたちが成長する過程で、ふれあうことは重要な要素なので、次回は子ども向けのハンドトリートメントのワークショップなども検討したい。(清家)



きらりでのハンドトリートメント



高田病院での交流



今回は雪中行軍となりました



仮設住宅におけるリサーチ

巡回許可：岩手県

気仙歯科医師会 大和田剛史会長様

岩手県歯科医師会 佐藤 保先生

岩手三陸復興の狼煙作戦 代表 佐々木龍夫

〒131-0031 東京都墨田区墨田 4-2-4-201 Tel 090-8423-2095

支援責任者 中里義博

〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町 4-13-23 Tel 048-964-4268